

# 避難所運営 ノウハウ役立った

## AMDA 九州北部での活動報告

活動報告する職員ら

―岡山市北区伊福町3で



大雨が襲った九州北部で支援活動に当たっていた国際NGO「AMDA」のメンバーが5日、岡山市北区の本部で会見を開き、活動を報告した。8月30日

から3日まで看護師ら6人が佐賀県大町町を中心に避難所運営や避難者への聞き取り調査をサポートした。調整員として参加した山田章博さん(45)

は、車が水につかり、特に高齢者が生活のための移動手段を失って困っていることを報告。また、「比較的狭い範囲の被災だが、病院の被災や油の処理など悪条件が重なった」と分析した。

町職員が通常業務も抱えていて人員が不足し、避難者の把握ができず、県に報告された避難者数が実際のものとはずれたこともあった。その後、避難所の運営会議を1日1回開くようにすることで改善につながったという。看護師の橋本千明さん(39)は「情報を壁

に書いて共有するなど、これまでの活動で得た細かいノウハウがそのまま使える場面が多かった。西日本豪雨でつながりができていた団体もあり、同じ方向を向いて支援できた」と語った。

【林田奈々】